皆様の課題をICTで解決する
DAiKO
http://www.daikodenshi.jp
FUJITSU パートナー
大興電子通信株式会社

大学生記者が編集　チバユニバーシティプレス
CHIBA UNIVERSITY PRESS
東京情報大学

『救いの手』を探して…

Qiball―子育て支援館（千葉市中央区）

育児問題 改善のカギ

「情報がありすぎて何を信じればよいのかわからない」「悩みを持っていても身近に相談する人がいない」など子育てをしてみるとさまざまな困難に直面する。そんな方におすすめなのが千葉市中央区にある官民複合施設Qiball（きぼーる）内の「千葉市子育て支援館」である。

ここは完全無料で（駐車料金は除く）千葉市以外のどこから来ていても利用できる。この「子育て支援館」は平成19年10月20日に開館し、専有面積が約650平方㍍という比較的広い面積を持つ。1日に約100～120組の親子が利用している。うわさや口コミでも話題となり、千葉市以外にも船橋市や市川市などからの利用者もいるという。

職員のほとんどが保育士の資格を持っていて安心して子どもを任せられる。また、看護師や心理士もいるため子どもが遊ぶ場としてだけではなく、子育てをしている親のカウンセリングも可能だ。基本的に就学前の子どもを対象にした施設となっている。

この支援館の内部は〝仕切られた部屋〟という感じはなく、ほとんどがオープンスペースになっていて利用しやすい。たくさんのおもちゃが置いてあるプレイホールを中心に絵本コーナー、ままごとコーナーがあり子どもたちは自由に遊ぶことができる。お弁当や持参したおやつを食べることができる親子サロンも併設されている。

多くの人に利用してほしいとの思いから子育て支援館の各所にさまざまな工夫もしてある。

例えば、広い空間で起こりやすい事故を防ぐためにわざとおもちゃの箱などを置いて子どもたちが走り回れないようにしたり、口に入れてしまうような小さなおもちゃは置かないようにするなどといったものだ。

また、離乳食メニューや子育てに関するチラシ、パンフレットも豊富で情報を提供する場にもなっている。利用する人のことを考えた施設づくりをするために意見箱も設置し、常に進化を遂げている。

『現代版』かけこみ寺

悩みを一人で抱え込む親も少なくない。この支援館の大きな特徴として心理カウンセラーが常駐しているなど子育てに関する相談がしやすいことが挙げられる。「とにかく話を聞いてあげることが大切です。話しづらそうにしている時はなるべく声をかけて話しやすい雰囲気をつくることを心がけています」と職員は話す。

継続相談件数は年間約40件にも上る。ここで特に多いのが、子どもの発達の遅れに関する相談だ。自分の子どもだけまだ言葉が話せない、離乳食を食べてくれないなど相談の内容は多岐にわたる。

先の職員は続けて「子どもの成長には個人差があるので焦らず長い目で見てあげることが大切です。育児本に載っているものはあくまで成長の過程の一例だということを忘れないでください。最近では情報が氾濫していてどれを信用してよいのかわからなくなってきてしまっています。そういう時は一人で抱え込まずに職員に気軽に声を掛けてほしい」と話す。

平日は母親の利用が多いが休日は仕事休みの父親が利用する機会も多いという。最近では子育てに関心のある男性も増えている。父親の協力によって母親の負担も減り、心に余裕ができる。

また、Qiballでは他の支援館にないようなイベントもあり、年齢別にクラス分けをして遊ぶ「わいわいひろば」、その他お話し会や音楽会なども行われている。〝気軽に交流でき、多くの情報を共有できる〟場所としてQiballは活用されている。支援館の職員は「全国どこから来ていても利用できるこの場所をぜひ一度利用してみてください」と多くの人の来館を心待ちにしている。

Qiball内のプレイホールの様子

子育て支援館を訪れた親子

安全面考慮した支援を

千葉市のQiball（きぼーる）内の「千葉市子育て支援館」は、乳幼児とその保護者が遊ぶことの出来る広いスペースが設けられている。ここでは、親子が遊ぶだけでなく〝親同士の交流の場〟〝子育て相談の場〟としても利用されている。利用者に話を聞いてみた。

「この支援館以外に実際に利用している子育て支援はありますか？」という質問に「子ども手当ですかね。あと、地域のサークル活動にもたまに参加しています」と、お子さんと来館していた女性（40）は笑顔で答えた。

別の来館者の女性は、千葉市が運営している〝リラックス館〟や〝ファミリーサポート〟などを利用しているとのことだった。「その情報はどこから手に入れていますか？」という質問には、〝ネットの情報〟〝張り紙を見て〟という意見もあったが、やはり〝ママ友の口コミ〟が一番大きいようであった。

これらの支援に対して、娘さんと来館していた男性（44）は「最初（ファミリーサポートを）利用する時は不安でした。でも、実際利用してみると良いことのほうが多いですね。子どもとの相性が良かったです」とのことであった。

また、「今後どのような支援が欲しいですか？」との質問に他の来館者の女性（33）は「室内で遊べる施設面を考慮した支援が欲しいという意見が多かった。

利用者は、子育て支援を上手に利用しており〝ママ友〟とのコミュニケーションを通して、子育てについての情報を共有していた。このように積極的にコミュニケーションをとっていけば情報を得るだけでなく、育児疲れや育児についての不安・ストレスの解消につながるのではないかと考えられる。

今後の子育て支援については、子どもの安全面を考えた支援が求められている。特に、放射能問題は長期的な支援・対策が必要なのではないだろうか。

〝まち〟づくりで自立育む

模擬体験通し社会参加

千葉市こどもの参画推進事業

千葉市が積極的に取り組んでいる事業に「こどもの参画推進事業」がある。魅力的な街にするために、子どもたちが街づくりに参画することで、さまざまな分野に効果を波及させようといった取り組みである。

この「こどもの参画推進事業」を所管しているのが、「千葉市こども未来局こども企画課」。こども未来局は平成22年に立ち上げられた若い局だ。従前は、子育て施策や少子化対策といった施策は、既存住民のための福祉施策的要素が強かった。人口減少期が到来し、これを食い止める重要施策として、こども施策を最優先事項に掲げ、こども未来局が誕生した。

日本の子どもの意識として、2003年にユニセフが行ったアンケート結果では、「孤独を感じるか」の問いに対し、「はい」と答えた割合が約3割にものぼり、次位のアイスランドのほぼ3倍と、突出している。

「向上心」に関するアンケート調査においても、諸外国と比較し、向上心の低さが顕著に表れていた。日本の団体が行った高校生の心と体の健康に関する調査でも自己否定感や希望がとても低い結果になっている。

千葉市が平成21年度に実施した調査においても「意見を言っても地域は変わりそうもない」、「やり方がわからない」など、地域とのつながりの希薄化が表れていた。こうしたことから、子どもたちが「意見を言う場」と、それを「受け止める社会の仕組み」を作れば、社会参加が促進されると考え、「こどもの参画」という取り組みを始めた。

市では、社会参画を学ぶ「こどもの参画を担うこどもを育成する場」と、実際に市政や社会に対する主体的な活動を行う「こどもの参画の場」に区分して各種の事業を展開している。子どもの発達段階に応じた社会への関与の度合いが異なるプログラムで、子どもの参画を推進することができるのである。それにより、幼少期から自らの周囲との関係性や主体性を学ぶことで、各種事業参加体験を通じて市民参加、協働を担う自立した市民になってもらう狙いがある。

「こどもの参画を担う子どもの育成の場」として、「こどものまちCBT」がある。まちでの仕事や、遊び場を通して疑似的に社会活動を体験する。こどものまちCBT実行委員会が主催する。子どもが企画、運営するまちとして、小学生から高校生までがそれぞれの役割に応じて活動。まち運営は、選挙で選出されたこども市長を中心に協議される。昨年は2日間で665人が参加した。

「こども参画の場」として、「こどものカワークショップ」がある。子どもを取り巻く身近な課題を子どもたちが、まとめ役のファシリテーター主導のもと、市への提言としてまとめる。ファシリテーターと専門家が関与し、ワークショップを積み重ねていくことで、子どもたちの意見は、自分から友だちへ、そして地域から社会へと変化していく。命の尊さを扱ったワークショップは、8回行われ、成果として「自殺予防のパンフレット」をつくり、千葉市内の小学5、6年生に配られた。

ワークショップの成果を外部へ知らせる場として、「こどものカフォーラム」がある。子どもの参画を中心に、さまざまな課題を子ども、市民、専門家、行政がともに考え、子どもからの提言を専門家、行政と討論する場でもある。これには千葉市は施策への反映の視点で参加している。こどもの参画への取り組みを市民に知ってもらうことも兼ねて一般公開されているので、一度参加されてみてはどうだろうか。

ワークショップを通して作られた、自殺予防パンフレットの表紙

BANK
あふれる活力を、
次のサービスへ。
お客様にもっと便利さを、
そしてさらなる満足と信頼を。
私たちだからできるサービスを、
次々とカタチにしていきます。
いま京葉銀行は、
あふれる活力でネクストステージへ。
京葉銀行　〒260-0015 千葉市中央区富士見1-11-11
TEL.(043)222-2121(代) http://www.keiyobank.co.jp

ちばぎん
このまちが好き。
その理由をたくさん増やそう。
地域と、全力。
ちばぎん未来を育む宣言
くわしくは、ちばぎんホームページへ。
ちばぎん　検索

もっとワクワクできるように。もっとお役にたてるように。
私たちの技術や製品は、つねに使う人を想像して進化してきました。
富士通がめざすICTは、そう、人がまんなか。
つくりたいのは、あなたのための明日です。
shaping tomorrow with you　夢をかたちに

オープンキャンパス2012　予約不用　入退場自由
7.22日　8.4日　8.25日
プログラム
キャンパスツアー/学び体験（展示）/インターネットライブ中継/無料ランチ体験/入試資料配付（無料）/入学相談コーナー/進学相談コーナー

キャンパスの様子が分かる! キャンパス見学会　予約制
6.17日　9.22土　11.25日　3.23土
1日2回開催（10:00～/12:00～）　※詳細はホームページをご確認ください。※3/23のみ10:00～の1回開催。
入試や学生生活のことを相談しよう! 進学相談会　予約不要　入退場自由
10.27土　10.28日
10:00～15:00
翔風祭（大学祭）と同時開催
情報大の普段の姿が見られる! 大学見学　随時受付
9:00～17:00 ※大学の休業日を除く平日
JR鄂賀駅より無料送迎バス運行! ※車での来場も可
9:40／10:00／10:30／11:00／11:30／12:00／12:30

分野をこえた新しい学びはじまる。
東京情報大学
TEL 043-236-1408
URL http://www.tuis.ac.jp
E-mail tju@affrs.tuis.ac.jp
〒265-8501 千葉県千葉市若葉区御成台4-1
総合情報学部 総合情報学科 ※2013年4月設置予定（構想中）
文系から理系まで、選んで組み合わせる12のコース
心理・教育/スポーツマネジメント/起業・商品開発/会計・金融/社会コミュニケーション/CG・WEBデザイン
映像・音響/ちば地域構想/地球・自然環境/システム開発/ゲーム・アプリケーション/ネットワーク・セキュリティ